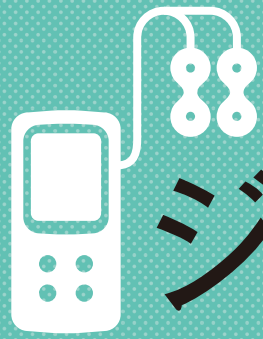


Together



ジェントルスティムの
解説動画はこちら



嚥下機能の低下に、電気刺激を用いてリハビリをする治療機器

ジェントルスティム

「飲み込む力」を やさしく支える新しい嚥下リハビリ

食べ物や飲み物を安全に飲み込むためには、喉の感覚や筋肉、神経の動きがバランスよく機能していることが大切です。しかし、脳卒中の後遺症や加齢などにより、この「飲み込む力（嚥下機能）」が低下すると、誤嚥や誤嚥性肺炎のリスクが高まります。下関リハビリテーション病院では、こうした嚥下機能の低下に対するリハビリの一つとして、電気刺激を用いた治療機器「ジェントルスティム」を導入しています。身体にやさしい刺激で喉の神経や筋肉をサポートし、飲み込む力の改善を目指す新しいリハビリテーションです。



痛みが少ないやさしい刺激

従来の電気刺激装置では、ビリビリとした刺激や不快感を感じることがありました。ジェントルスティムでは「緩衝電流」という技術を採用しています。皮膚抵抗の少ない周波数を利用することで、電気刺激が皮膚の表面だけでなく喉の深部まで届きやすくなっています。そのため、刺激による不快感が少なく、高齢の方や刺激に敏感な方でも安心して使用できる設計となっています。



飲み込みの動きをサポート

私たちが食べ物や飲み物を飲み込むとき、喉の周囲の筋肉は瞬時に動き、食道をふさぎながら食道へと食べ物を送り込みます。この一連の動きは非常に繊細な神経の動きによって支えられています。ジェントルスティムは、喉の感覚を刺激して脳へ信号を伝えやすくする、飲み込みのスイッチとなる嚥下反射を起りやすくするといった働きにより、飲み込みの動作をサポートします。



食事をしながらリハビリができる

ジェントルスティムの大きな特徴の一つは、電気刺激を行いながら実際の食事訓練ができることです。リハビリ室での訓練だけでなく、実際の食事の場面で装着することで、喉の感覚を補助しながら飲み込みの動作を練習することができます。実際の生活場面に近い形でリハビリを行うことで、より効果的な機能回復につなげることが期待されています。